

## 推薦入試について

学校推薦型選抜入試（11月～）・総合型選抜入試（旧AO入試、9月～）が始まります。大学受験には、一般選抜入試の他に、学校推薦型選抜入試（公募制推薦・指定校推薦など）と総合型選抜入試がありますが、どちらも大学側が要求する出願条件を満たしていることが受験条件となります。また、学校推薦型選抜・総合型選抜ともに校内の推薦委員会の承認・承諾が必要となります。以下に本校の規定を掲載しますので確認および参考にしてください。

### 本校の学校推薦型選抜入試・総合型選抜入試規定

#### 1 学校推薦型選抜入試について

##### 1-1 本校の推薦基準

- (1) 学習態度、生活態度とも他の生徒の模範であり、本校の生徒として推薦に値すること。
- (2) 志望する大学、短大、専修・各種学校等（以下、志望校とする）の推薦基準に達していること。
- (3) 原則として、これまでに懲戒処分の対象となる問題行動などを起こしたことがないこと。

##### 1-2 学校推薦型選抜入試を希望する生徒の確認事項

- (1) 指定校制推薦、公募制推薦とも推薦委員会で推薦を認められた場合に出願することができる。
- (2) 学校推薦型選抜入試による受験の申請は、その志望校を第一志望とする場合に限られる。また、合格後の辞退は認められない。
- (3) 原則として、併願はできない。ただし、当該の志望校が併願を認めている場合は推薦委員会で協議の上、判断する。
- (4) 学校推薦型選抜受験願を提出する場合は、必ず保護者の同意を必要とする。
- (5) 学校推薦型選抜入試は出願書類の審査の他に面接・小論文等の試験の結果、合否が判断されるものであり、推薦されることが必ずしも合格を意味しない。
- (6) 合格後に問題行動があったり、単位を落したりした場合は推薦を取り消すこともある。
- (7) 学校推薦型選抜入試希望者が合格した場合、必ず大学入学共通テストを受験すること。また、それに伴う講習などは必ず受講すること。
- (8) 校内の申し込み期限については厳守すること。

#### 2 総合型選抜入試について

##### 2-1 本校の出願基準

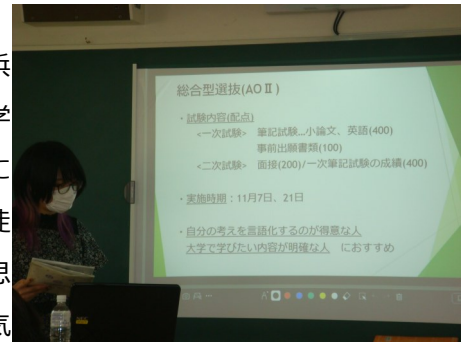
- (1) 志望校の出願資格（アドミッションポリシー）を満たしていること。
- (2) 懲戒処分の対象となる問題行動のあった生徒の出願の扱いについて  
問題行動によって指導を受けた生徒の出願については、調査書以外に校長の許可を必要とする書類を提出する場合は、その経過を踏まえて校長が判断する。  
また、出願資格（アドミッションポリシー）の中に、人物等に関する記載がある場合も、その経過を踏まえて校長が判断する。

##### 2-2 総合型選抜入試を希望する生徒の確認事項

- (1) 総合型選抜受験届を提出する場合は、必ず保護者の同意を必要とする。
- (2) 総合型選抜入試希望者が合格した場合、原則大学入学共通テストを受験すること。また、それに伴う講習などは必ず受講すること。
- (3) 校内の申し込み期限については厳守すること。

## OB・OG講演会～先輩からのメッセージ～

8月17日（水）に卒業生による講演会が実施されました。東北大学・横浜市立大学・弘前大学医学部医学科・自治医科大学医学部という難関大学に進学した先輩方です。大学の特徴や大学で学んでいること、高校時代にどのように志望校を決定し、どのように学習に取り組んだか、などを説明し、最後に生徒からの質問に答えてくれました。どの先輩も自分が達成したことを誇りに思い、後輩たちに自分の経験を伝え、自分たちの経験を役立ててほしいという気持ちで伝わる講演でした。



医学部医学科の説明会では、ワークショップも実施しました。生徒は5～6人のグループに別れ、KJ法（課題解決に向けて用いられる手法の一つ）を用いて「青森県の自殺率を減らす」という課題に取り組みました。生徒はそれぞれ課題に関する自分の意見やアイデアを付箋にできるだけ記入し、続いてグループ全員の付箋を意味や内容ごとにグループ化して1枚の模造紙にまとめます。その際に、自分の意見について説明したり、グループのメンバーの意見に耳を傾けたり、よりよい解決法は何かを話し合うこととなります。それによって同じ情報を共有し、課題に対する様々な見解を得ることができます。模造紙でどのように表現するかなども含め、参加生徒は活発に意見を交換していました。

\*おとしまで、弘前大学医学部医学科の総合型選抜では、受験者は共通テストの前にこのKJ法を用いたワークショップや模擬講義、個人面接、ケーススタディ（事例研究）などを受験しなければなりませんでしたが、今年度はワークショップは含まれず、個人面接とケーススタディを受験します。

### 自治医科大学の魅力

- ・学習進度が早い
- ・医師国家試験の合格率が100%！（2021,2020,2019,2016）
- ・寮生活
- ・FCSD制度
- ・ラウンジ制度
- ・学費がかからない



↑先輩の作成した大学紹介スライド

### ～生徒の感想～

**東北大学経済学部**・毎日の授業を大切にすることが大切なんだということがわかりました。講師の先輩は受験期以外の勉強は特別なことはしたわけではなく、授業でわからないところを残さないようにすることや、宿題を丁寧に解くなど、基本的なことをコツコツとやっていて、三高の生活の中で大切だと言われていることをやっていたのが志望校合格に結びついたのでないかと思いました。

**東北大学工学部**・「ケアレスミス」は存在しない、ミスには必ず理由がある、という言葉が心に響きました。模試でも定期テストでも、必ずなぜ失点したかなどしっかりミスを理解するのが大切なのかなと思いました。

**東北大学文学部**・今後は講演で話してくれた共通テストの勉強法をやってみて、自分にあった勉強が見つけられるようにしたいと思いました。また、無駄な時間は作らず、空き時間を大切にしていきたいと思いました。

・総合型入試の話を知ることができたのが良かった。面接の練習方法や実際に受けてどう感じたかをリアルに知ることができた。新聞の内容を要約したり、出願書類について詳しく説明できるようにする練習をしてみたい。

**横浜市立大学理学部**・自分の家での勉強習慣を見直そうと思いました。もう少し、小テストや授業の復習に時間を使えるようにしようと思いました。

**医学部**・どうしてもその志望大学じゃないとだめ！という気持ちで受験に臨むことや自分が何をしたいか何のために志望したのかという部分を固めることが大切なんだと分かった。また、情報に対して貪欲であるべきだということも分かった。

・「ケーススタディは話さないで落ちる」ということが印象に残りました。